

1. 議事日程（第18日目）

日程第 1 一般質問

1. 北垣 潮君

- (1) サンタマリア館収蔵品購入について
- (2) 上天草総合病院診療体制について
- (3) 国立公園について
- (4) 防災体制について

2. 本日の出席議員は次のとおりである。（15名）

議長 園田 一博

1 番 木下 文宣	2 番 何川 誠	3 番 嶋元 秀司
4 番 切通 英博	5 番 宮下 昌子	6 番 西本 輝幸
7 番 高橋 健	9 番 新宅 靖司	10 番 田中 万里
11 番 北垣 潮	12 番 島田 光久	13 番 津留 和子
14 番 桑原 千知	15 番 田中 辰夫	

3. 本日の欠席議員は次のとおりである。（1名）

8 番 小西 涼司

4. 会議事件説明のため出席した者の職・氏名

市 長	堀江 隆臣	副 市 長	小嶋 一誠
教 育 長	藤本 敏明	総 務 企 画 部 長	和田 好正
市 民 生 活 部 長	舛本 伸弘	建 設 部 長	藤島 幸治
経 済 振 興 部 長	村川 和敬	教 育 部 長	中 文近
上天草総合病院事務長	尾崎 忠男	総 務 課 長	山下 正
財 政 課 長	濱崎 裕慈	会 計 管 理 者	堀川 雅輔
水 道 局 長	小西 裕彰	福 祉 課 長	坂田 結二

5. 職務のため出席した者の職・氏名

議 会 事 務 局 長 宇藤 竜一 局 長 補 佐 松尾 伸之
主 事 木本 臣英

開議 午前10時00分

○議長（園田 一博君） おはようございます。

出席議員が定足数に達しておりますので、これより会議を開きます。

本日の議事日程はお手元に配付してあるとおりです。

日程第1 一般質問

○議長（園田 一博君） 日程第1、一般質問。

通告がっておりますので、順次発言を許します。

北垣潮君から、資料の配付について申し出がありましたので、会議規則第157条によって、これを許可します。

11番、北垣潮君。

○11番（北垣 潮君） おはようございます。北垣潮です。議席番号は11番です。議長の許可がありましたので、一般質問を始めます。

一番目にサンタマリア館収蔵品購入について質問します。本会議でも宮下議員の質疑がありました。また経済建設常任委員会でも津留議員から御質問もあり、大変いいことだから進めてくれとのことでありました。質問が重複してしまう部分もあるかもしれませんが、約300点の資料購入ということですが、資料購入のための評価委員会の委員の構成はどのようになるのかお聞きします。

○議長（園田 一博君） 経済振興部長。

○経済振興部長（村川 和敬君） おはようございます。よろしく願い致します。

質疑でも御質問がありましたけども、この評価委員会の委員さんたちにつきましては、熊本や天草の歴史に詳しい大学教授、それから博物館関係者など、歴史的遺物の学術的価値や価格について見識を有する方など3名を想定しているところでございます。また、検討過程では地元の有識者の皆さんの意見をお聞きすることを現在考えているところです。

○議長（園田 一博君） 北垣潮君。

○11番（北垣 潮君） 噂と申しますか、九州国立博物館の館長もという話がちまたでは話が上がっているようですが、それは間違いはないですか。

○議長（園田 一博君） 経済振興部長。

○経済振興部長（村川 和敬君） 大学の先生方につきましては、九州内外でも候補者が上がっておりますので、その候補者の一人として挙がっているというところでございます。

○議長（園田 一博君） 北垣君。

○11番（北垣 潮君） 大矢野なんですけど、地元にも詳しい方がおられます。このサンタマリア館よりまだ多くの収蔵品をもっておられる方であります。

私がサンタマリア館が収蔵品を手放すという話は天草市の旧天草教育会館の2階で天草キリシタン館開館50周年記念講演が終わった後、1階に降りていくと元キリシタン館館長の亀子先生と、天草の写真集を出されている小林先生が心配そうに話されていて、そこで知ったわけでありまして。知り合いの人たちに聞くと、1億円はくだらないだろうとか、これから先出てくるものではないということでありました。そのうちに苓北町の名前が出て、苓北町は委員会では買うように決めていたが、予算化はしなかったということで、苓北町出身の天草文化協会の平井さんは非常に残念がって、悔しい思いをされておりました。富岡城にも資料が少ない、富岡城はどちらかというキリシタンとは反対の立場ではありますけれど、苓北町の志岐ではキリシタンの貴重な遺物が出てきて、このサンタマリア館にも今のところ収まっています。そのうち上天草が買いたいということで、私自身本当にうれしく思いました。メモリアルホールの資料が少ないということと、去年は長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産ということで上天草市も動くべきだということで一般質問をしましたところ、当時の総務部は関係あるのかという感じでしたが、最近では経済振興部観光おもてなし課の職員の皆さんが一生懸命勉強中で、頭が下がる思いであります。富岡城に一度行ったら、また行こう、ゆっくり見に行こうという気にはならないんです。天草の歴史資料が少ないということから、こういうことになるのか、こういう気持ちにさせるのかと私は思うところであります。

皆さんに資料を出しました西日本新聞に5月19日には写真入りで大きく取り上げられました。次の日には熊本日新聞でも小さく載っておりましたけど、誰も目にとめられなかったのかなと思っております。資料購入への思いは自分ではこういうことだろうなという気持ちがわかりますが、市としての思い、大矢野から出た資料も何点かサンタマリア館にはあります。市長にお聞きします。天草の宝である、心である、サンタマリア館収蔵品を買おうとした経緯をお聞きします。

○議長（園田 一博君） 堀江市長。

○市長（堀江 隆臣君） 昨年、館長がある方を通じて来庁されました。そのとき私は不在で、副市長が対応をしました。とにかく、サンタマリア館の運営が非常に厳しい状況であると。収蔵品の売却を考えているということででした。その中には、かつて上天草市の方が所有して、なおかつ献上されたそういったものも多分に含まれていますし、館長がおっしゃられたのは、もしここで収蔵品の売却ができなければ、天草外に流出する可能性が非常に高いということで、協力いただけないかという申し出でございました。

議員が御指摘のように、来年は崎津集落が長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産で世界遺産登録に動こうということで、天草管内2市1町で潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産に向けての協議会を設立して、天草全域で潜伏遺産に向けてのPRと準備を進めていこうということでいま進めております。メモリアルホールも開館以来24年が経過して、オープンしたときから比べたらずいぶん来客数も減っております。どちらかというとレプリカを中心とした展示品でございますので、今回のこのタイミングで展示品をもっと充実させて、来客者の増につなげていきたいというこちらの考えもありましたので、前向きに検討したところです。メモリアルホール運営審議会に報告をしましたところ、委員の皆さんからも非常に前向きな意見をいただいたというところでもございましたので、あとは予算の方の都合もありますが、評価委員会の結果を経て、先方さんとの協議に入りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○議長（園田 一博君） 北垣君。

○11番（北垣 潮君） 私も資料にありますが、天草市のキリシタン館とメモリアルホールの来館者数を調べてみました。メモリアルホールの入館者数については、平成7年には10万人を超えております。だんだん尻すぼみの感があります。10万人というのは地の利もあつたのかなという気もしておりますけど、天草キリシタン館と比べると展示品の数、展示の仕方などにも問題があると思います。西日本新聞の下の段に熊本大学の安高教授のコメントがあります。「浜崎氏親子が集めたコレクションは今では収集不可能なものばかりで、大変貴重だ。世界遺産に絡んだ潜伏キリシタンの信仰の道具など、天草の島外に出すべきでない」と述べられております。経済建設常任委員会の質問でもありましたが、あえて私も質問します。もし購入されることになったらどこに展示されるのかお聞きします。

○議長（園田 一博君） 教育部長。

○経済振興部長（村川 和敬君） もし購入することになった場合でございますけど、今回サンタマリア館の収蔵品は300点以上となるため、すべて購入した場合は一括展示方式ではなくて、天草四郎メモリアルホール館内のレイアウトを変更するなどして一部を改修して、展示スペースを確保したい、そのうえで分割して展示をしたいと考えております。

以上です。

○議長（園田 一博君） 北垣君。

○11番（北垣 潮君） 以前の大矢野町時代には、大矢野町に大矢野町郷土資料館の整備に関する陳情書を出そうという動きもあつたようであります。これは平成7年11月のようですが、文を読みますと。

大矢野町に平成五年七月八日「天草四郎メモリアルホール」が開館し町の文化・観光等の振興の一翼をになつております現況であります。

尚一層の町の発展のため偉大な先哲らが残しました文化財や遺品等を一度に収納し展示し供覧することが私達が代々の先人達に対する責務と存ずる次第であります。幸いにも町内中宮

津の山崎信一氏が永年にわたって貴重で価値のある古文書・古地図・掛軸・絵画等多数蒐集されておられますし、世界的な漢学博士竹添信一郎先生のご子孫や、町内在住日展会員の池田尚志画伯また江戸時代の大庄屋吉田屋その外の方々も完備した館があれば所蔵なされています貴重なる品々を提供・貸与される意志多大であります。

以上の観点から町の文化、観光振興や、次代を担う青少年らが、素晴らしい先哲達を学び社会に貢献するよう郷土資料館整備を申し上げここに陳情書提出いたします。

と平成7年11月に大矢野町観光協会の会長の津留さんと大矢野町郷土史研修同好会でこれを出される予定だったと聞いております。現在のメモリアルホールは展示スペースが本当に少なく、現在は入り口のガラスケースの中に少しありますが、ああいう展示では貴重なものには見えません。来館された方にはただ普通の紙切れに映るのではないかと思います。私は何年かぶりに天草キリシタン館を訪ねました。入館者を調べに行ったんですが、以前は遠くから来られると天草キリシタン館を案内しておりました。私は天草キリシタン館の建てかえに反対して、ロープを張ったり、天草の宝を壊すなどといったのぼりを立てたりして、取り壊しの反対運動をしました。丘の上に赤い三角屋根の見たときは、本渡に来たんだな、天草に帰ってきたんだなと友人たちも思っていたようでありました。そういう反対運動もしたことも忘れて、資料を探しに行って、ついつい時間がかかって、2階の展示室を見に行ったんですが、光と影をうまく利用して、暗い中に展示品をうまくスポットして美術館や国立博物館のようにその部分は明るくして、その品物は本当に貴重なものに見えるように仕掛けがしてありました。今度購入されて、展示することになれば、こういう天草キリシタン館のような仕掛けをなされるおつもりでしょうか。お聞きします。

○議長（園田 一博君） 経済振興部長。

○経済振興部長（村川 和敬君） 私どもも天草四郎メモリアルホールにつきましては、展示スペースが狭いことは認識しております。増築はできないかということで検討しましたが、相当予算が必要だということで――。収蔵品が多くなるということで、展示品をジャンルごとに分けて、期間を限定して展示して、それをローテーションで回す。そうすることによってリピーターもふえるのではないかなということでそういう展示方法を考えております。ほかの資料にもいろいろ、文献資料とかもございまして、展示方法につきましては、ほかの施設もございまして、活用できるんじゃないかなと考えているところです。

○議長（園田 一博君） 北垣君。

○11番（北垣 潮君） サンタマリア館の収蔵品を天草四郎メモリアルホールに展示されるということで、私も気になる場所があります。天草四郎メモリアルホールは、天草島原の乱で戦いに行って、命を絶たれた首を落とされた人たちをしのんでと申しますか祈念すべきホールであります。メモリアルホールという名前が葬儀社の名前に似ているから、名前を変えたらという話もあるとか、お聞きしますが、そういうことはあがっておりますか。

○議長（園田 一博君） 経済振興部長。

○**経済振興部長（村川 和敬君）** 先日開催をいたしました天草四郎メモリアルホール運営委員会のほうでも、協議をいただいたところをごさいますて、私たちの観光おもてなし課のほうでいろいろ市外の方、観光客の方から伺ったところ、今メモリアルホールという言葉自体が斎場をイメージするという御意見も伺っておりますのでそのことを運営委員会のほうでお伝えをいたしましたところ、その名称の変更についても検討していいんではないかということをごさいます。もしも変更するとなった場合は、またそのときに協議をさせていただきたいと思います。

○**議長（園田 一博君）** 北垣君。

○**11番（北垣 潮君）** 今、天草四郎メモリアルホールについては、私も、先ほどきょう傍聴に来ておられます水田さんからお聞きしまして、当時の川上町長がローマ法王に謁見されたときに、許しを得てメモリアルホールという名前をつけられたと。そういう経緯があるということで、先人を敬うというか先人の偉業をやはりメモリアルホールという名前は私も残したほうがいいんじゃないかなと思うに至りました。天草四郎メモリアルホールとサンタマリア館の気になるところといたしますか、メモリアルホールのほうは、天草島原の乱で戦いに行かれた人たちのことで、サンタマリア館は天草島原の乱に参加しないで、260年の間隠れキリシタンとして信仰を維持してきたという、そういうゆえんであります。同じところに展示してもいいのかなという思いもあります。そこで将来にあたっては、有明から持ってくるのができれば一番いいんですけどもその資料館は持ってこれませんので、将来的には別棟をつくるべきではないかと思えますけど、そういう計画についてはどうでしょうか。

○**議長（園田 一博君）** 経済振興部長。

○**経済振興部長（村川 和敬君）** 現在のところ、改築するという計画はございます。ただ宮津地域で、今後整備する予定の複合施設がございます。そちらのほうで今さっき言いました、ジャンルごとに分けて、展示することもできるんじゃないだろうかということで、今のところは考えているところです。

○**議長（園田 一博君）** 北垣君。

○**11番（北垣 潮君）** 複合施設では私どうも納得がいけないところがあります。龍ヶ岳には郷土資料館があるんです。ただ、展示する品物はあまりどちらかというと高価なものは龍清六さん、龍駿介画伯の油絵が1点ぐらいで、あとはそう値打ちがあるものはありませんでしたけど、今閉館になっております。大矢野で資料館ができる前はここに置いておくとか、そういうことは検討できないでしょうか。

○**議長（園田 一博君）** 経済振興部長。

○**経済振興部長（村川 和敬君）** 資料館そのものでもいろいろ問題があると思います。老朽化をしているとかですね。そしてその施設そのものの改修費用等もあります。それから展示ケースだとか、先ほど議員がおっしゃいましたように、それ相当の展示をするには、いろんな環境的に整っていないければ、やはりなかなか難しいところがありますので、そのところは今後の

検討課題になるというふうに思います

○議長（園田 一博君） 北垣君。

○11番（北垣 潮君） あと一つ入れておりましたけど、この購入予定には2階にある天草の骨董価値のある古い焼き物が入っていないのかお聞きします。

○議長（園田 一博君） 経済振興部長。

○経済振興部長（村川 和敬君） 現在購入の打診を受けておりますのは、サンタマリア館1階に展示をされております約300点の収蔵品でございます。2階にある焼き物につきましては、サンタマリア館所有者の意向も含めまして、今後の協議の中で検討させていただきたいと思っております。

○議長（園田 一博君） 北垣君。

○11番（北垣 潮君） 2階の焼き物は、焼き物好きにはたまらないような、骨董価値のある今にはないようなすばらしい焼き物がたくさんあります。あれも購入しておけば、観光客もいっぱい来られるんじゃないかなと私は思います。私も2階を見てから、何回も2階には行って、目の保養になりました。天草キリシタン館開館50周年記念講演では、熊本大学文学部歴史学科准教授の安高先生が天草キリシタン市の可能性と題して講演がありました。会場にはもう満員の人がはいておられました。上天草市でも、来年の長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産登録を前に講演とか勉強会みたいな計画はありませんか。お聞きします。

○議長（園田 一博君） 経済振興部長。

○経済振興部長（村川 和敬君） 平成30年夏でございますけども、天草市崎津集落の世界遺産登録が見込まれますので、インバウンドも含みます観光入込客の増加を目指して、関連するイベントを実施していくということはとても有効であると考えております。また数年後には、天草四郎生誕400年という年を迎えますので、国や県の助成、また民間の地域づくり支援団体等の助成事業などを活用して、来年度以降となりますけれども、天草四郎に関するシンポジウムの開催等を掲載検討しているところでございます。

○議長（園田 一博君） 北垣君。

○11番（北垣 潮君） サンタマリア館の質問はこれで終わります。

次に、上天草総合病院について質問します。上天草総合病院についての質問は初日の田中辰夫議員の質問がありました。ただ私若い時船の上で雷が落ちて、耳の聴力が弱いため、ここでの答弁が聞き取れませんでしたので、わかりづらいところがありましたので、お聞きします。医師確保については、前の事務部長も医師確保のために頑張っておられるという答弁だったと思いますが、そういうことでよろしいでしょうか。

○議長（園田 一博君） 病院事務長。

○病院事務長（尾崎 忠男君） 前の松本事務部長は、医師確保専門員ということで、残っていただいております。

以上です。

- 議長（園田 一博君） 北垣君。
- 11番（北垣 潮君） それからもう1点、看護専門学校の入学者減について、質問を入れておりましたが、先日の答弁では、応募数は多かったような答弁に聞こえましたが、入学者が少なかったのは、なぜでしょうか。
- 議長（園田 一博君） 病院事務長。
- 病院事務長（尾崎 忠男君） 北垣議員のおっしゃるとおり、応募者数は多かったんですけども、ことしは入学者数は34名でした。といいますのも、やはり数校の看護専門学校等を受験しておりまして、優先順位といいますか、そちらのほうに入学したと思われまして。
- 議長（園田 一博君） 北垣君。
- 11番（北垣 潮君） やはりその点は何か改善していかなければならないと病院のほうでも、自覚されておられるんですか。答弁をお願いします。
- 議長（園田 一博君） 病院事務長。
- 病院事務長（尾崎 忠男君） そのとおりでございます。私たちも入学者数を予想しまして、10人ほどで補欠の分を設定しておりましたが、学生さんたちも流れていたというところでございます。それゆえことしの看護専門学校の運営協議会というのがありまして、その中で指定校というのもふやそうと、そして地元の高校の枠をふやそうじゃないかという意見が出ておりまして、その数字を検討しているところでございます。
- 議長（園田 一博君） 北垣君。
- 11番（北垣 潮君） 蓮尾院長先生も初日の答弁の中で、奨学金の数をふやせたらということも、言われておりましたが、奨学金の数をふやすのは可能でありますか。
- 議長（園田 一博君） 病院事務長。
- 病院事務長（尾崎 忠男君） 田中議員の答弁に対しまして、蓮尾事業管理者も、奨学金の数をふやしたらどうかということをお話したところでございます。私たちもその奨学金に今は各クラス、1年から3年生まで4名ずついるんですけども、奨学金の数をふやせたらなと思っております。しかしながら、財源が伴いますので、それはまだ検討事項というところでございます。
- 議長（園田 一博君） 北垣君。
- 11番（北垣 潮君） 昔は関東やら、向こうの病院と提携して奨学金を出してもらったり、八代の総合病院とかそういうところからも入学金とか授業料とか、奨学金が出ていた時代もありました。その辺のところも検討するべきではないかと思っておりますが、事務長の答弁をお願いします。
- 議長（園田 一博君） 病院事務長。
- 病院事務長（尾崎 忠男君） さきの田中議員さんもおっしゃってましたが、鹿児島のほうとかに大阪あたりの病院から奨学金をもらって、高校から入学すると、そういうこともあっております。しかしながら、当上天草看護専門学校は公立でございますので、そのところは

もう少し精査する必要があるのかなと私は思っております。

○議長（園田 一博君） 北垣君。

○11番（北垣 潮君） 町立病院時代はできて、市立病院はできないということはないと思います。頑張っしてほしいと思います。また、蓮尾先生は住宅環境も言っておられました。医師住宅のことでしょうか。

○議長（園田 一博君） 病院事務長。

○病院事務長（尾崎 忠男君） 医師住宅のことです。今現在病院の前にあります上天草市営の宮本アパートというところに医師も入っているところがございます。そして、今民間のアパートの新築されたところがありますので、そこを借りまして、看護男子学生でありますとか、医師が入居しているところがございます。

○議長（園田 一博君） 北垣君。

○11番（北垣 潮君） お医者さんが来てくだされば、ちゃんとした住宅をつくれればいいんじゃないかと思えます。蓮尾先生はコンビニがないということも言っておられました。私も、蓮尾先生の答弁を聞いていて、吉幾三の歌を思い出しました。何もねえとか——。地域の私たちも魅力的なまちづくりにも、お願いしておられましたので、市のほうも、龍ヶ岳地元の高戸でも力を入れていかなければ、努力していかなければならないと思っております。先生が魅力的な、まちづくりということで、関連して質問しますが、御所浦から患者さんが貸し切り船に乗ってこられる栈橋が、骨董品にもなるように古くて、着岸する船が傷みはしないかと心配するような栈橋です。病院にこられる患者さんのために、何とか検討してもらいたい。

誰が答弁されますか。

○議長（園田 一博君） 経済振興部長。

○経済振興部長（村川 和敬君） まず、浮き栈橋の件につきましては適宜維持管理のほうをしているところがございますが、なかなかそういう状況というのが私もちょうと今のところ把握できておりませんが、すぐ職員のほうで出向かせて調査を実施したいと思えます。その上で、対応したいと考えております。

○議長（園田 一博君） 北垣君。

○11番（北垣 潮君） 病院も看護専門学校の宿舎も立派な建物でありますけど、栈橋とあまりにもギャップがあり過ぎます。御所浦の人たちは、本当に立派な栈橋に乗って龍ヶ岳のほうにいらっしゃるわけでありますので、その辺にも何とか考慮してほしいと思えます。

次に、国立公園について質問します。

私は、観光の面でも発言しておりますが、教育長が常々言っておられる子供たちにふるさとを愛する心を育てるためにも、発言しているのであります。決して龍ヶ岳は何もないところではないのです。去年は国立公園認定60周年という年でありました。上天草市が国立公園だと、理解している人は少ないのではないかと思います。龍ヶ岳高戸の和田鼻、姫戸の小島公園に国立公園という看板が立っておりました。国立公園の看板も必要ではないかと思います。いかがでしょう

か。

○議長（園田 一博君） 経済振興部長。

○経済振興部長（村川 和敬君） 看板につきましては適切な場所といたしますか、例えばトレッキングコースだったら入り口だとか、そういうところには設置はしております。ただ国立公園の管理が熊本県の公園事業と関連しますので、市が単独でどこそこに勝手に設置をするというのはできないと思いますので、つけるところは県のほうと協議する必要があります。

○議長（園田 一博君） 北垣君。

○11番（北垣 潮君） 書店の雑誌でm o c o s M o o kとあります。暮らすように過ごす「天草」ということで、国立公園と書いて上天草関係は、次郎丸岳のライオン岩と、龍ヶ岳樋島の外平海浜自然公園が載っているだけであります。どうも私は合点がいかないというか、国立公園になったきっかけというか、そういうものを精査していきますと、やはり、龍ヶ岳の山頂が1番だということを、龍駿介画伯も田村博士も、こう述べられております。この資料によりますとおり、田村博士激賞されて曰く「私は全国の国立公園候補地を殆んど隈なく調査したが自分の知る範囲に於ては、恐らく日本一の美観であり、大観である。スイスの湖水美も遙かに之には及ばない。つまり、之れは世界的の風景である。之れだけ立派な風景は例え国立公園にならずとも、決して埋まっただけではない私もこれから内外に向かって大に紹介に努力します」と、言われております。こういう言葉を龍ヶ岳山頂とかにも記すべきじゃないかと思うところであります。田村博士の言葉の中には、昭和8年2月20日の新聞に、

自分は大正十年來国立公園の問題に関係し全国の名所という名所景勝地という景勝地は殆ど隈なく旅行したが今度の天草旅程真心と熱意ある盛んな歓迎を受けたことは初めてだった、恐らく今後とてもこんなことはあるまい、天草の風景が優れているだろうということは自分が地図をひろげる度に感じていたことだったが実際踏査してみると御世辞ぬきに想像以上に立派だと感じた、具体的に言えば天草海岸一帯が一貫した観光系統をつかって居り其処をめぐって島の変化に富んでいるのに驚いた、内海と外海、東と西、場所を変える度にそれぞれで変わった趣があつて少しも倦かせない。また大観において非常に恵まれていると思う阿村東山連峰の一高舞登のように老人子供でも楽々登るところからも立派な展望が利くし龍ヶ岳や次郎丸ヶ岳のように、可成り苦勞して登るところは勿論想像以上の展望を有することは天草ならではの特徵だ、あつた美景に接するのだから、足元すなわち展望する場所も自然美を壊さない程度で観光客の便宜を図る施設をすべきだろう今度踏査したところで最も傑出しているのは龍ヶ岳からの大観で此処は八代湾の中心を望む地点を占め遠くは鹿児島薩摩一帯近くは御所ノ浦その他の群島の変化と雄大さしかもどっしりした風景は実に絶景だ、北方に黒島、赤島その他の小島が点々とあるのがまたたまらなくいい、海景でこれ程勝れたものを自分は未だ見たことはない、この大観は海景としてばかりでなく湖水的美がある、世界で湖水美の最も優れているのは瑞西でそこと比較してみると瑞西は湖の背景に雪のアルプスを持ちその点で龍ヶ岳は劣るがそのかわり水の景ははるかに雄大だ、そうした点から此処

の大観を世界的だと折紙つけるのに躊躇しない、図らずも自分はこの絶景を見たが自分でなくとも誰かが何時か此処の美を紹介したろう国立公園とこの問題を一緒にして考え意見を述べることは自分の今の場合ゆるされぬことだが此処をあまねく天下に紹介し宣伝することは自分も国民の一人という立場において努力することを群民に誓っていい、

という発言も当時されております。そういうことで、龍ヶ岳山頂に、田村博士の感激の言葉とかを建てることはできないでしょうか。

○議長（園田 一博君） 経済振興部長。

○経済振興部長（村川 和敬君） 田村博士につきましては日本国立公園の生みの親と言われておりまして、松島町の千巖山の案内板に天草四郎時貞が島原出陣の祝い酒を手酌で酌み交わしたということで、手杓子山と言われていたんですけれども、この後も田村博士が行かれて奇岩怪石に感嘆して、千巖山に改名したといういきさつがあるということが案内板に書いてあります。ここはそういう歴史文化がありますので案内版が、これ熊本県が設置をしてるんですけども、そういういきさつだったと思います。ただ龍ヶ岳の場合は先ほど申し上げましたとおり、やはり国立公園内の中に入っておりますので、県と協議する必要がありますし、文面だけでそこに移設するのが適切かどうかというのは、やはり県との協議が必要じゃないかなと思っております。

○議長（園田 一博君） 北垣君。

○11番（北垣 潮君） 天草市に行けばいろんな人の、詩碑や石碑が立てられております。前回は詩吟の得意な、副市長に質問したわけでありまして。

松橋より船に上り句詩を作促す

松橋駅の畔に舟を僦いて乗る

星斗天に満ちて夜気凝る

舟腹に寒臥して凍蠅の如し

天明に纜を繋ぐ天草島

島民半ば魚以って稲に代う

飯を炊き魚を買う魚の味好し

南海波を望めべ紅暎に閃き

碓影起伏して浮亀の如し

説く是れ薩州黒の浪門

この歌について質問しましたが、答弁はインターネットに出てくるような答弁でありました。頼山陽史跡資料館に問い合わせたところ、御指摘の詩は、山陽詩抄巻4に収録されています。山陽全書詩集では244ページに収録されています。山陽詩抄は山陽自身が詩をよりすぐったもので、詩が収録されているということは、山陽自身納得のいく作品だったということでしょう。それから、促句詩という珍しいスタイルに挑戦した異色作と言えるのではないのでしょうかということでした。促句詩は注釈書に「三句ごとに1たび、韻を替え、三疊してやむ句数九」だそうです。

けど、私もまだ余りこう理解できない部分もありました。先日は水俣市の教育委員会から来られて亀嶺峠で詠まれた詩の意味を尋ねにこられたということでした。来年は頼山陽が九州に遊んでから200年という節目で、各地で催しが開かれるということでした。頼山陽史跡資料館主任学芸員の花本様は、現地に行って詩をつくっているということで、スケッチのようなものとも言っておられました。

教育長は、ふるさとを愛する心を育てるということをいつも言うておられますけど、水俣市の教育委員会も亀嶺峠の頼山陽の歌の意味を調べにこられたということで、やはりこういうことも、ふるさとを愛する心につながるのではないかと思います。教育長は、答弁を入れておりませんでしたけども一応振ってみます。答弁をお願いします。

○議長（園田 一博君） 教育長。

○教育長（藤本 敏明君） 突然で、ちょっと戸惑っておりますけども、ふるさとを愛する心を育てるというのは、私この職について本当に感じることでございます。将来を担うであろう子供たち、この子供たちにふるさとを愛する心を育てるというのは重要問題だと思っております。将来子供たちが、市外に出ても、ふるさとに寄与したいとかふるさとを興したいとか、ふるさとで起業したいとか、家族や親のために帰りたいとか、こういう心というのはやはりふるさとを愛する心に原点があると思っております。また風光明媚な景色、これもひとえに一因になると思っております。

以上でよろしゅうございましょうか。

○議長（園田 一博君） 北垣君。

○11番（北垣 潮君） ありがとうございます。

観光予算についてちょっと。私の錯覚かもしれませんが、この観光予算は松島にばかり集中しているのではないかという気がします。姫戸の海水浴場のトイレが汚いとか、岩谷にあるトイレが男女一緒になっているという苦情をいただきます。現地を見て、対応するべきではないでしょうか。答弁を求めます。

○議長（園田 一博君） 経済振興部長。

○経済振興部長（村川 和敬君） 施設の管理につきましては、担当課の観光おもてなし課の職員のほうが巡回をしたり、嘱託職員で対応をして、いろんな情報を収集し、適切に対応しているというふうに考えております。ただ、利用者の方、観光客の方からいろいろな御指摘があることは事実でございます。そういうところで、今後はやはり先ほどの議員がおっしゃいました松島ばかりでございますけども、今現在、前島とか宮津のほうの整備を進めようとしておりますけども、そちらのほうのまず集客力とか訴求力を増加させて、観光客を呼び寄せるということに重点を今置いてるところで、そのあと各地の観光スポットの整備やイメージづくりの強化に重点をおきたいというふうに考えておまして、そのためにはやはり、トイレだとか、そちらの整備も適切にやっていく必要があると思っておりますので、担当課のほうに指示を出したいと思っております。

○議長（園田 一博君） 北垣君。

○11番（北垣 潮君） 千巖山とかではよく西本議員が千巖山専門みたいについて質問されて、千巖山はだんだんよくなってきます。私今回は頼山陽の歌の話は4回目になります。これについても来年は、頼山陽が天草に来て200年祭ということで何とか取り上げることは、検討はできないかということをお聞きします。

○議長（園田 一博君） 経済振興部長。

○経済振興部長（村川 和敬君） 私も初めて、来年が生誕200年祭ということでお聞きしました。頼山陽さんの資料館もあるということも存じ上げておりませんでしたので、まず内容を調査をさせていただいて、それから検討させていただきたいと思います。

○議長（園田 一博君） 北垣君。

○11番（北垣 潮君） 産まれてからではなくて、九州に周遊してからの、200年ということになります。

次に、最後になりましたけど、防災体制について質問します。豪雨、台風時期を前に、防災体制が整っていますかと簡単に、私も漁に行く前に急いで書いたもんですから、簡単に御質問しておりますけど、2年前になりますか、台風で電線に木が倒れて停電が長く続きました。それを教訓として風が吹き荒れた場合倒れてくれば、電線にかかるような木は九州電力に届け、今のうちに伐採してもらうべきだと思いますが、答弁をお願いします。

○議長（園田 一博君） 総務企画部長。

○総務企画部長（和田 好正君） おはようございます。よろしく申し上げます。今、御質問の台風時の倒木等による、電線、電柱への影響ということでございますが、危険と思われる箇所については九州電力のほうにも、随時連絡をしておりますし、また台風時の停電等についても、情報がそれぞれ交換をできるように、これまでも確認を行っているところでございます。引き続きそのような箇所があれば、九州電力へお願いをしていきたいと考えております。

○議長（園田 一博君） 北垣君。

○11番（北垣 潮君） そういう箇所が見受けられます。ぜひ、上天草全体を回っていただいて対応してもらいたいと思います。また、この木が倒れて家にかぶさったところも前回の台風のときはありました。そういうところも市の管理地というところでありましたので、そういうところも再度見て回ってみるべきじゃないかと思うわけであります。

龍ヶ岳町のときは消防団では、警報が出ると消防団が詰所に待機していましたが、現在は統一されてそういう体制はないと聞いておりますが、これについてはどうでしょうか。

○議長（園田 一博君） 総務企画部長。

○総務企画部長（和田 好正君） 実際、災害の対応については、消防団の協力はぜひとも、必要などころでありまして、防災会議等の中でも、そこら辺のお願いをしておりますし、随時警報の発表であったりとか、注意報の発表等も踏まえて消防団のほうには取れる協力体制をお願いしているところがございます。ですので、避難所開設等の土砂災害等の情報があれば、当然、

消防団のほうも待機をされる体制を団長の指揮のもとに、今はとっていただいているところでございます。

○11番（北垣 潮君） 警報が出れば、詰所に待機しているということですか。

○議長（園田 一博君） 総務企画部長。

○総務企画部長（和田 好正君） 危険度に応じて団長の指示の中で、自宅待機であったり、詰所に待機の指示がされているものと思っております。

○議長（園田 一博君） 北垣君。

○11番（北垣 潮君） 前とだいぶ違っているような感じがしております。龍ヶ岳町の場合は、警報が出ればみんなが自主的に詰所に出て待機していたわけでありまして、合併して統一になったのかなど。各町、同じようなスタイルになったかなと思います。しかしながら、龍ヶ岳・姫戸の場合、特に龍ヶ岳は台風の被害が過去にも何回も起きております。また、地理的にも大矢野とか松島とは違います。みんな統一じゃなくて、その辺のところも加味する必要もあると思います。龍ヶ岳も姫戸も昭和47年7月6日に大水害もありました。地形的にもそういうところでありましたので、統一というふうにはしてほしくないと思います。水道料金は統一してなくて、こういうところは統一ということもおかしく思っておりますが、答弁をお願いします。

○議長（園田 一博君） 総務企画部長。

○総務企画部長（和田 好正君） 消防団活動の基本的なところは統一されているかと思っておりますけども、台風の進路であったり雨の降り方、その状況によって、その団長の下にまた副団長もいらっしゃると思いますので、当然大本の指導については、団長ですけども、副団長の考え方というものもあるかというふうに思います。そこら辺については消防団のほうに伝えさせていただきます。

散会 午前11時02分